

助成者：	石田 紀郎	助成期間：	2017年4月（1年間）2019年4月～活動中
所 属：	NPO法人市民環境研究所 代表理事		

アラルの森プロジェクト

【活動場所】 中央アジア カザフスタン ウズベキスタン アラル海地域

【事業目的】 1960年代後半から流入水の減少で干上がり出したアラル海は21世紀に入ると元の面積の10分の1にまで縮小した。出現した旧湖底沙漠の面積は日本の九州より広く、塩と砂が混じった砂嵐は沿岸地域社会を襲い、気管支炎疾患などの人的被害や農作被害を引き起こし、生活基盤を危うくしている状況から旧湖底沙漠への植生の侵出を加速させ、砂嵐を抑え地域社会存続に向けた活動に取り組む。2006年まで調査研究し、その後植林活動を少しずつ続け約10年多くの失敗を重ねてきた。極めて厳しい土壌・環境条件の中で、植栽個体の活着率向上に向けた新たな育苗方法の考案に取り組む。



サクサウル種子の採取

育苗の勉強をする
アラリスク市の生徒



主な活動内容：

- ①天然サクサウル林で種子を採取
- ②塩分濃度の低い土壌を使いプラスチックポットで数か月育苗
- ③旧湖底沙漠へ植栽 500本（0.5ヘクタール）
- ④1回/月給水、活着率調査